



木村 俊明 第2部 指揮

大阪教育大学特設音楽課程声楽科卒業。声楽を浦山弘三氏・市来崎のり子氏、指揮法をロベルト ヴリーゲン氏、コントラバスを宮澤敏夫氏・西出昌弘氏に師事。卒業と同時に大阪フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者のオーディションに合格。同オーケストラ副主席奏者として12年間活躍。

同団退団後、音楽教育に奉職(元大阪信愛女学院短期大学教授)する一方、ソロや室内楽演奏、合唱指導者のほかオーケストラ指揮活動を開始する。大阪市民管弦楽団、西宮交響楽団、宝塚市交響楽団、近畿フィルハーモニー管弦楽団、交野シティ・フィルハーモニック、アンサンブル コスモリパティなど各地のアマチュアオーケストラを指揮し、マーラー「交響曲第5番」、ブルックナー「交響曲第4番(ロマンティック)」をはじめ、ヘンデル「メサイヤ」、ベートーヴェン「交響曲第9番(合唱付)」やブッチェニ「蝶々夫人<全幕>」などを各地で指揮し、その豊かで明快な指揮が高く評価されている。

現在、合唱団Jo-9 指揮者、交野シティ・フィルハーモニック 常任指揮者、東大阪第九シンフォニー合唱団 指揮者、みどりの風星田コーラス 指揮者、福島区民合唱団 指揮者、住之江第九合唱団 in OSAKA指揮者、サントリー「万人の第九」合唱指導者、大阪市民管弦楽団 顧問。大阪楽友協会会員。



尾崎 比佐子 ソプラノ

大阪音楽大学卒業。

第16回飯塚新人音楽コンクール大賞、第3回コンセル・マロニエ21最優秀賞、日本のうたコンクール2010第1位他受賞。2001年度音楽クリティック・クラブ賞本賞、平成14年度兵庫県芸術奨励賞、第6回松方ホール音楽賞大賞他多数受賞。

オペラは「魔笛」夜の女王でデビュー。その後「フィガロの結婚」をはじめモーツァルトの五大オペラの他、「メリー・ウィドー」、「ランメルモールのルチア」、「ばらの騎士」、「椿姫」、「ジャンニ・スキッキ」、「ランスへの旅」、「マリア・ストゥアルダ」等のヒロインを演唱。コロラトゥーラからリリックまで、豊かな声量と的確な表現で幅広い役柄を演じ切る実力派として、評価が高い。

他にリサイタルや各種演奏会への出演、また第九や宗教曲のソリストとしてオーケストラとの共演も多い。

関西二期会、日本演奏連盟会員。同志社女子大学講師。



田中 友輝子 アルト

84年「ドン・カルロ」のエポーリ姫役でオペラデビュー。「ラ・ジョコンダ」「カルメン」のタイトルロール、「トロヴァトーレ」アズチーナ、「アイーダ」のアムネリス、「カヴァレリア・ルスティカーニウツツア」サントウツツア、イウツツア「仮面舞踏会イウツツア」ウルリカ、イウツツア「アドリアーナ・ルクヴルルイウツツア」ブイヨン妃、「魔笛」ダーメⅢ、「修道女アンジェリカ」公爵夫人、ベルク作曲「ヴォツェック」マリー、ブリテン作曲「真夏の夜の夢」オペロン役他多くのオペラに出演。06年8月、同公演をイタリアのブッチェニ・フェスティバルにて日伊合同公演にスズキ役で出演。また、第九やオラトリオ等のアルトソロとして活躍する。NHK 新人演奏会出演。第21回なにわ芸術祭新人奨励賞受賞。大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。坂口菜里、横井輝男、樋本栄の各氏に師事。大阪府立夕陽丘高校音楽科非常勤講師。関西歌劇団正団員。堺シティオペラ理事。



石川 太一 テノール

相愛大学音楽学部器楽学科卒業
奈良教育大学大学院修士課程修了

クラリネットを鈴木豊人氏に師事、カールライスター氏の指導を受ける。大学卒業後アンサンブルを中心に演奏活動をするが、その後声楽に転向。第14回泉の森フレッシュコンサート並びに泉の森フレッシュガラコンサートに出演。

これまでに声楽を福田清美、林 誠の各氏に師事。



田中 勉 バリトン

デビューは「フィガロの結婚」。その後、「コシ・ファン・トゥッテ」「道化師」「ファルスタッフ」等に出演。1990～91年文化庁在外派遣研修員ウィーン国立音楽大学留学。帰国後、「椿姫」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「夕鶴」「エウゲニ・オネーギン」「お蝶夫人」「道化師」「トゥーランドット」等に出演。第22回なにわ芸術祭新人奨励賞、第1回JSG国際歌曲コンクール 聴衆特別賞。'99年、大阪府和泉市文化功労賞。2000年、第20回音楽クリティック・クラブ本賞。'04大阪舞台芸術賞本賞。'11「リゴレット」の演唱に対し、文化庁芸術祭優秀賞受賞。大阪音楽大学大学院歌劇専攻修了。現在、大阪音楽大学教授、同大学院主任。関西歌劇団理事。日本シューベルト協会会員。



近畿フィルハーモニー管弦楽団 管弦楽

1985年、近畿大学文化会交響楽団OBの有志により、前身の近畿大学OB交響楽団を設立。1999年更なる発展を目指し、近畿フィルハーモニー管弦楽団に改称。今では近大OB以外の者が団員の殆どを占める一般のアマチュア・オーケストラとして活動し、今年で29周年を迎えた。毎年いすみホールで定期演奏会を、大阪市やその周辺都市でファミリーコンサートを開催。年末には東大阪第九シンフォニー合唱団の定期演奏会、また2月には城東区第九演奏会第九を演奏するなど、地域の皆様に気軽にクラシック音楽に親しんでいただける様精力的に活動を続けている。



西村 朗 第1部 解説

大阪市に生まれる。東京芸術大学及び同大学院に学ぶ。

日本音楽コンクール作曲部門第1位(1974)、エリザベート国際音楽コンクール作曲部門大賞(1977・ブリュッセル)、ルイジ・ダッラピッコラ作曲賞(1977・ミラノ)、尾高賞(1988・1992・1993・2008・2011)、中島健蔵音楽賞(1990)、京都音楽賞【実践部門賞】(1991)、日本現代芸術振興賞(1994)、エクソンモービル音楽賞(2001)、第3回別宮賞(2002)、第36回(2004年度)サントリー音楽賞、第47回毎日芸術賞(2005)等を受賞。この他に、02年度芸術祭大賞に「アルディッティSQプレイズ西村朗「西村朗作品集5」」が、05年度芸術祭優秀賞に「メタモルフォーシス・西村朗室内交響曲」が選ばれる。

2013年紫綬褒章及び大阪府市民表彰を授与される。

1993～94年、オーケストラ・アンサンブル金沢、1994～97年、東京交響楽団の各コンポーザー・イン・レジデンス。2000年よりいすみシンフォニエッタ大阪、2010年草津夏期国際フェスティバルの各音楽監督に就任。2007年東京オペラシティ「コンポジアム2007」のテーマ作曲家。放送の分野でも2003年よりNHK・FM「現代の音楽」の解説を6年間、2009年よりNHK-Eテレ「N響アワー」の司会を3年間務める。

海外においては、ウルティマ現代音楽祭(オスロ)、「ノルマンディの10月」音楽祭(ルーアン)、アルディッティ弦楽四重奏団、クロノス・カルテット、ELISION、ハノーヴァー現代音楽協会、ラジオ・フランス等から新作の委嘱を受ける他、ウィーン・モダン音楽祭、「ワルシャワの秋」現代音楽祭、MUSICA・ストラスブール音楽祭、プリスペイン音楽祭等において作品が演奏されている。この他、2009年ガウディアムス(アムステルダム)国際作曲コンクールの審査委員を務め、音楽週間において作品が演奏された。

現在、東京音楽大学教授。



茶木 敏行 第1部 歌・指揮

大阪芸術大学卒業後関西二期会で活躍。

京都市立芸術大学大学院修了(大学院賞受賞)。その後ドイツのケルンに渡り、ベルギッシュェ・ゲザングインスティテュートに入学。スイスのシュヴィッツでのオペラ公演、モーツァルトの歌劇「後宮からの逃走」のベルモンテ役で出演。ロシア、セントペーターズブルクでの音楽祭に招かれ、ドイツ歌曲演奏会を開催し絶賛を浴びる。ドイツ、ナメディー城音楽祭でのオペラ公演、モーツァルトの歌劇「魔笛」のタミーノ役で出演。ドイツ国内でもその他多くの演奏会に意欲的に出演。その間、ボンのカトリック教会での専属テノール歌手を務める。帰国後もオーケストラ、合唱団との協演や歌曲の分野で活躍し、多くのオラトリオのテノールソロを務める。世界的歌曲伴奏者チャールズ・スベンサー氏との協演により、ドイツ歌曲リサイタルをいすみホールにて幾度も開催。2011年には、ドイツ歌曲による初めてのCDをフォンテックよりリリース。イタリア、フィナーレリグーレ国際コンクール入賞。大阪府舞台芸術奨励新人賞受賞。日本シューベルト協会会員。CA声楽コンセルヴァトワール代表。



佐藤 謙蔵 合唱指導

京都市立芸術大学音楽部声楽専修卒業、同大学院修了。ウィーンにて発声法、ドイツリートを学ぶ。

「蝶々夫人」、「魔笛」、「子供と魔法」、「おさん茂兵衛歌麿」、「チェネレントラ」、「サンドリオン」、「おこんじょうり」、「白墨の輪」その他多くのオペラに主要なキャストで出演。第九、モーツァルト「レクイエム」、「戴冠ミサ」、ハイドン「ハイリヒミサ」、「戦時のミサ」、M・ハイドン「レクイエム」、ドボルザーク「ミサ」などのテノールソロを務める。リサイタルではシューマン「詩人の恋」、平田あゆみ「うるし揺ぎ I、II」を好演。留学中コルシカ島にて日本歌曲を歌い好評を得る。

C.Spencer、K.H.Tuttner、R.H.Boesh、中島基晴、小林正夫、田原祥一郎、故手島孝教、故佐藤時彦、北村敏則各氏に師事。現在、大阪信愛女学院高等学校音楽教諭、同中学・高等学校合唱部顧問。

大谷大学混声合唱団、同志社学生混声合唱団、C.C.D.奈良フロイデ合唱団、京都楽友合唱団、アンサンブルシェパリエ、アンサンブルシャンテの指導者、ヴォイストレーナーとしての活動。



藤森 伸代 第1部 ピアノ伴奏 練習ピアノ

武庫川女子大学音楽学部器楽学科卒業 同ピアノ専攻科 修了。

なにわ芸術祭 新人奨励賞受賞。武庫川女子大学 非常勤講師、伴奏者として勤務。鞍井博子、故井上直幸、各氏に師事。

大学退職後、デュオ結成。リサイタル、サロンコンサート、学校公演、ボランティア活動など行う。

又、合唱団とヨーロッパ公演に参加。Kurt Eguluz氏のレッスンを受ける。

現在、コーラスの伴奏、幼稚園での合唱指導、伴奏、合唱団Jo-9の伴奏を務める。



森本 恵子 練習ピアノ

大阪音楽大学音楽部器楽学科ピアノ専攻卒業。卒業後、3年間大阪音楽大学助手を勤める。中学校で合唱部に入部し、合唱音楽に目覚める。中学3年間、教会のオルガニストを務める。以後、現在まで合唱団員として歌い、伴奏者・指揮者も務める。

大学1年で神戸中央合唱団に入団し、その間、数々のステージで歌い、多くの指揮者の指導を受け、合唱コンクール(全国大会)、定期演奏会、CD「海の構図」(中田喜直)、「明日香の風」(石井欽)のレコーディング、2度にわたるヨーロッパ演奏旅行(ウィーン・ムジーク・フェラインホール他)のピアニストを務める。合唱以外にも、声楽、オペラ、器楽、室内楽のピアニストを務める。

作曲家 大中恵、松下耕、三枝成章各氏他と共演。中村茂隆作曲「わが耶利米亜・わが哀歌」、松下耕作曲「卒業アルバム」(北へ)の初演ピアニスト。サントリー「万人の第九」、合唱団 Jo-9 指揮者大町陽一郎、小松一彦、湯浅卓雄、守山俊吾、大友直人、山田一雄、小林研一郎各氏他練習ピアニストを務める。

現在、東大阪第九シンフォニー合唱団、聖チェチリア合唱団・専属ピアニスト。コール・エトワール、女声コーラスひなげし、めぐみエコーコール・モリティー指揮者「大東第九を歌う会」合唱指導者他、色々な合唱団の伴奏指導にもあたっている。大阪府立池田北高校 非常勤講師。